

あさひの日だまり

令和6年 1月19日 (金)

NO.34

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～児童・保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。～

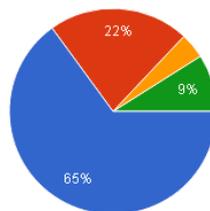
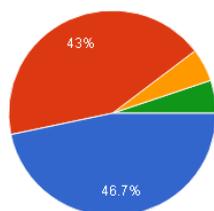
この度のお便りでは、児童に回答してもらったアンケートと保護者の皆様をお願いしたアンケートの回答結果を報告させていただきます。多くの質問にご回答いただきましたが、そのすべてを掲載することは紙面の都合上難しいですので、いくつかの質問を抜粋して掲載させていただきます。また、たくさんの記述によるご意見もお寄せいただきました。肯定的なご意見を数多くいただきました。教職員一同そのご意見を励みにこれからも一層子どもたちのために尽力してまいります。一方で、改善を必要とすることに関するご意見も多数いただきました。じっくりとご意見を読ませていただくと確かにその通りだと学校の姿を振り返ることができました。ご意見を職員と共有し、今後の教育活動に生かしてまいります。引き続き、本校の教育活動に関しましてご意見をいただけますようお願いするとともに、改めて保護者の皆様と地域の皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

児童アンケートの結果から (高学年)

※ 左が4・5・6年 右が1・2・3年生の回答結果です。 (低学年)

学校へ行くのが楽しいです。

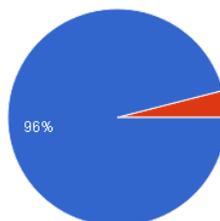
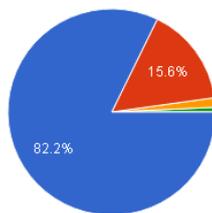
135件の回答



● 思(おも)う
● だいたいそう思(おも)う
● あまりそう思(おも)わない
● 思(おも)わない

仲の良い友だちがいます。

135件の回答

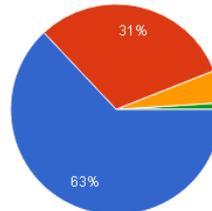
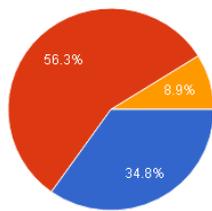


● 思(おも)う
● だいたいそう思(おも)う
● あまりそう思(おも)わない
● 思(おも)わない

どの回答も、「思う」、「だいたいそう思う」という数を合わせると、どの学年の児童も似たような回答内容になりました。仲の良い友だちがいて学校へ行くのが楽しいという回答を多くの児童がしてくれている状態が継続するよう、今後も「楽しい学校創り」に職員一同努めていきたいと思えます。一方で、「あまりそう思わない」、「思わない」と答えた児童の思いに心を寄せることを忘れてはいけません。目の前の子どもの中にそういう思いを抱えながらそこにたたずんでいる子どもがいることを忘れてはなりません。教職員はその状況を共有し、学校生活の中での声かけや気配りを継続して行っていく必要があると考えています。

自分は学校のきまりを守って生活しています。

135 件の回答

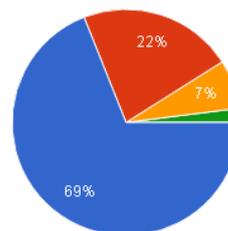
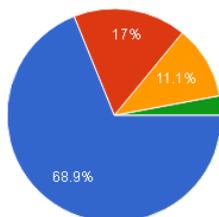


- 思(おも)う
- だいたいそう思(おも)う
- あまりそう思(おも)わない
- 思(おも)わない

「思う」と「だいたいそう思う」を合わせると9割程の児童が学校の決まりを守りながら生活をしていることがわかります。児童は、日々その場その場でどう行動するかを自分なりに判断しながら生活を送っています。今後も、校内で何か問題が発生した場合は、教師からその事実の持つ意味について大人の価値観を押し付けるのではなく、児童がじっくりと自分で意味を問い直す時間を持てるように配慮していきたいとおもいます。そうすることで、「決まりだから守らなくてはいけない」という発想から「この決まりにはどんな意味があるのだろう」というところまで考えられる児童を育てていきたいと願っています。

困ったときに相談する人がいます。

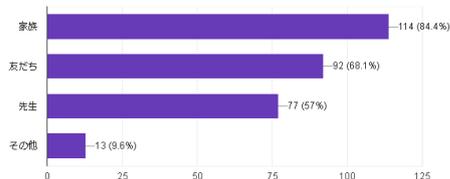
135 件の回答



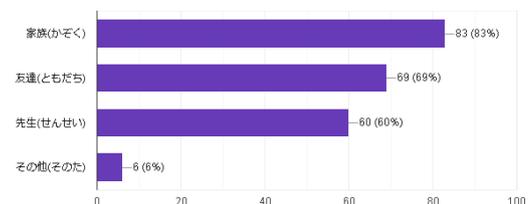
- 思(おも)う
- だいたいそう思(おも)う
- あまりそう思(おも)わない
- 思(おも)わない

だれに相談しますか。あてはまるものを全てにチェックしてください

135 件の回答



コピー

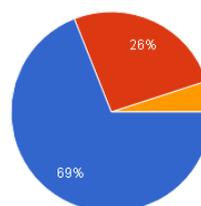
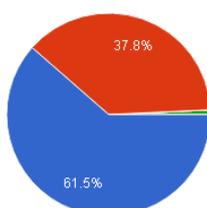


困った時に相談できる人が私の周りにはちゃんといてくれるという安心感は子どもたちにとってとても大切なことです。多分その人は、色々とアドバイスしてくれる人というだけではなく自分の心の内をちゃんとわかりながら傍からそっと見守ってくれている人でもあると思うのです。その役をご家族の皆さんに担っていただいているという事実から心から感謝申し上げます。

そして、10数パーセントの「相談できる人がいない」と心細さを抱えながら学校生活を送っている児童の思いに心を寄せて、私たち教職員一同「ありのままの児童の姿を受け入れる」姿勢を忘れることなく「先生に相談してみようかな」と思ってもらえるような児童と職員との関係を築いていきたいと思ひます。

授業はわかりやすいです。

135 件の回答

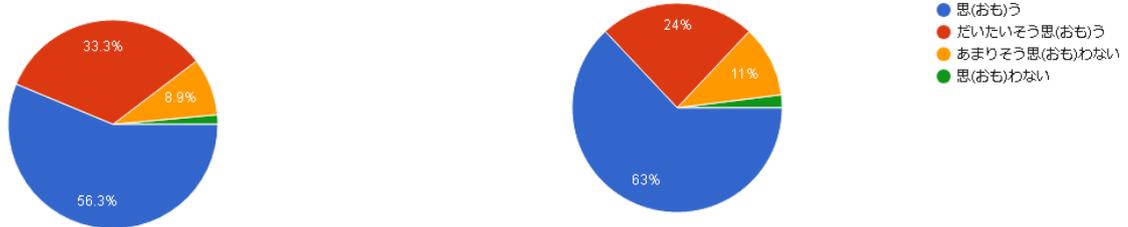


- 思(おも)う
- だいたいそう思(おも)う
- あまりそう思(おも)わない
- 思(おも)わない

多くの児童が「授業はわかりやすい」と考えていてくれることを嬉しく思います。私たち教師にとっては「子どもが楽しいと思う授業作り」が本分です。経験の多い少ないにもよりますが「わかりやすい授業」から一歩進んで「子どもが自分のやりたいことを追究できる子ども主体の授業」を展開できるように努力を重ねていかなくてはならないと考えています。

先生は、あなたががんばったことをほめてくれます。

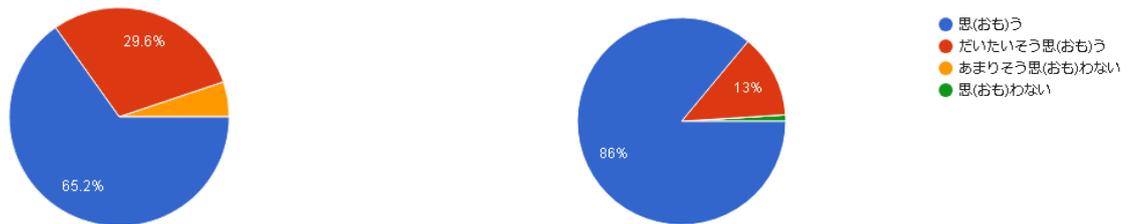
135件の回答



子どもたちと先生方の信頼関係があって初めて子どもたちは「この先生の言うことを聞いてその方向へ進んでみようか」と考えるものです。それはまさしく自分の人生の進む方向を先生の言葉や存在によって決定する瞬間でもあります。そういう両者の関係は、教師が子どもたちのすばらしさを生活の中に見出し声がけをしていくことから始まります。今回の回答の状況がさらに改善されていくよう私たち教師は、常に「子どもの良さを見つけ出していこう」という気持ちを持ち続けたいと思います。

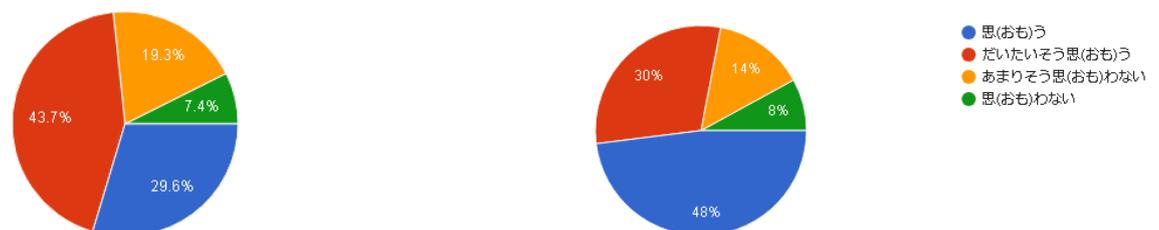
宿題をきちんとやっています。

135件の回答



読書をよくしています。

135件の回答

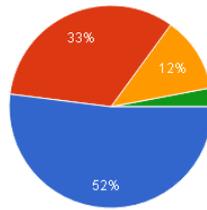
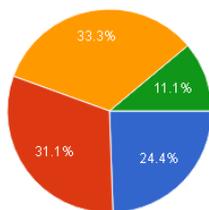


宿題を頑張っている児童の多さに感動します。その努力が児童の今後に役立ってほしいと強く願います。子どもたちの今後に役立つような宿題を学校として考えていく必要があります。職員の研修の場を設け、宿題の内容について検討していきたいと思います。

多くの児童が読書に親しんでいる様子がうかがえます。本と自分との間に距離感を感じている子どもには、読書の時間にその子にあった本を紹介するなどして、良い本に巡り合うチャンスの芽を広げてあげたいと思います。

授業では進んで意見が言えます。

135 件の回答

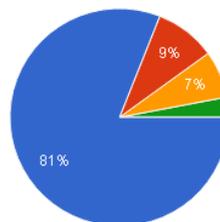
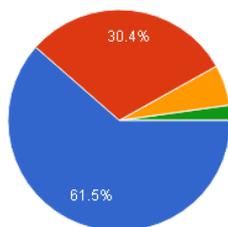


- 思(おも)う
- だいたいそう思(お)う
- あまりそう思(おも)わない
- 思(おも)わない

この質問の回答では、1～3年生と4～6年生との間で大きく差異が見られます。「恥ずかしい」という思いが強まってくる年齢的な特長もあるとは思いますが、そんな中でも、「自分の発見や気づきを聞いてほしいし伝えてみたい」という思いに突き動かされながら授業中についつつぶやきが漏れてしまうような授業をぜひ展開したいと思います。

地域とかかわって学習することは楽しいです。

135 件の回答



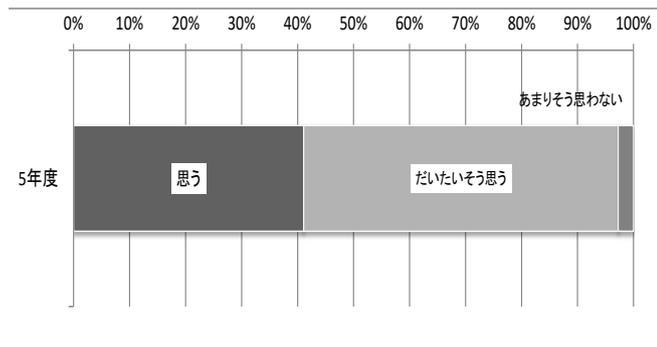
- 思(おも)う
- だいたいそう思(お)う
- あまりそう思(おも)わない
- 思(おも)わない

現在の本校の様子を見ると、本当に多くの地域の皆さまに児童の指導にあたっていただいています。地域の皆さまの協力なくして授業実践を進めることは難しい状況にあるといってもよいです。クラブ活動の指導者のお一人から「私のやり方で指導してもよいのでしょうか」という質問をいただきました。私は、地域の指導者の持っておられる専門性は到底教師の及ぶところではないということを理解しています。地域の皆様にその時間の指導は一任する方向で指導をお願いしていくべきだろうと考えています。その方がきっと子供たちにとっても満足のいく時間になるに違いはまずです。また、「自分のここまでのキャリアを学校で生かすことができている」という喜びを指導者の皆さんに感じていただけたとすればそんなにうれしいことはありません。

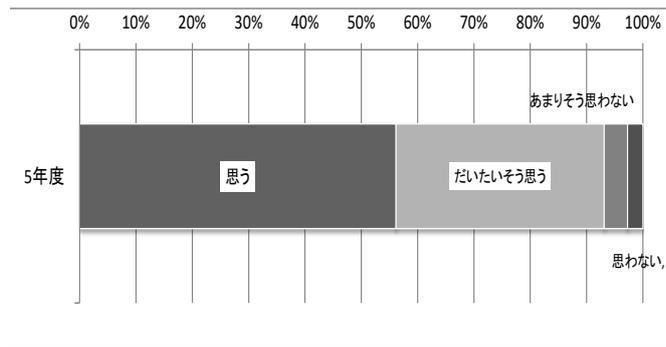
保護者アンケートの結果から

グラフは、左から「思う」「だいたいそう思う」「あまりそう思わない」「思わない」の4つの順です。

1 お子さんが学校に行くことを楽しみにしている学校
になっていると思いますか



2 お子さんは友達と仲よく過ごしていると思いますか



保護者の皆様から頂いたご意見のいくつかを紹介します。

色々な学年と交流がある。暖かい雰囲気がある。先生方の熱意に頭が下がります。学習もですが、心を育てて下さる先生方にお世話になれて、有り難いです。子供が楽しみにしながら毎日笑顔いっぱい学校へいけています。学年を超えて仲が良い。先生が親身になってくれる。体験型行事が多い。なかよし班など、学校全体で仲の良い環境作りをしている。絵を描く日など、新たな行事を企画してくださり、子どもたちのいろんな可能性や興味を引き出そうとくださっているのが伝わってきます。学校行事が復活し嬉しく思う。教科担任制でいろんな先生と関わる事が出来るのもよい。

肯定的なご意見の一方で次のようなご指摘もいただいています。

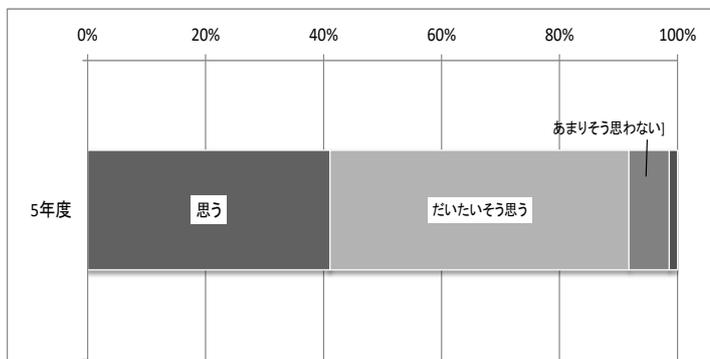
担任がきつめの返答をすることが多いみたいです。こどもの気持ちより、自分の考えを重点に置いているような気がします。先生の目の前で嫌がらせがあったが、ふざけているだけだと思い、声かけや指導等が無かった様なのでいじめにならない様に、もう少し気を付けて欲しいと思いました。

多くの保護者の皆様から、先生が親身でいろいろな対応をしてくれているというご意見をいただいた半面、子どもの思いに寄り添えない言動に対するご指摘もいただいています。子どもたちにとって私たち教職員は大人の見本であり、最大の教育環境であります。いただいたご意見に真摯に耳を傾け、自らの姿を真摯に振り返りたいと思います。

設問2で「あまりそう思わない」「思わない」との回答が7%あります。いただいたご指摘と通じる部分もあるように思います。どの子も「学校へ行くのが楽しい」と感じられるような東小を目指していきたいと思います。

教職員は「いじめは絶対に認めないし許さないという信念を持って子どもたちの前に立ちましょう」ということを確認し合っています。心配なことがありましたら、校内の保健室に「あさひ相談室」を設置しています。養護教諭が担当していますのでお子さんのことに関してご心配なことがありましたらどんなことでもご相談ください。校長・教頭にも気になることがありましたら気軽にご連絡ください。

3 お子さんが意欲的に学習に取り組める授業が行われていると思いますか



保護者の皆様から頂いたご意見のいくつかをご紹介します。

担任以外にサポートの先生がクラスを見ていてくれる。野外授業を沢山取り入れていて素晴らしい体験ができている。学校行事が復活し嬉しく思う。教科担任制でいろんな先生と関わる事が出来るのもよい。半日の運動会は良かったと思います。先生方が懸命に指導されていると感じます。校長先生の挑戦する姿勢は素晴らしいことだと思います。先生方が子どもに真摯に向き合っていてくれるので安心です。間違ってもいい！と先生に言われ、気持ちに楽に授業に取り組んでいるように思います。授業以外の活動も、子どもにとっては楽しみなようで、先生との思い出はこれからも大切なものになるんだろうな！と感じています。子どもも素直に成長してくれそうです。

肯定的なご意見の一方で次のようなご指摘もいただいています。

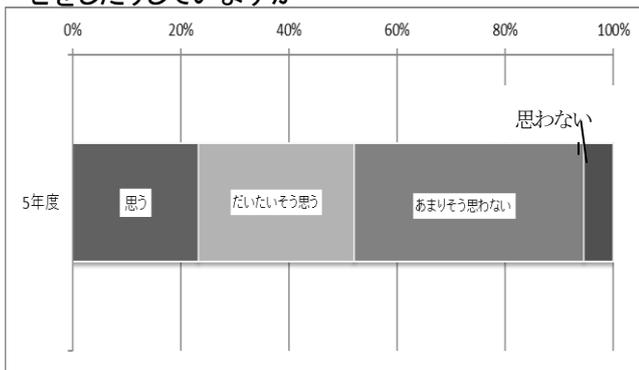
授業を参観してみて、授業開始、終了の挨拶は少し残念に思う姿もありました。また、先生やお友達の話を聞く姿勢もこれで良いのかな…と思う場面もあり、改めて家庭でもけじめや、聞く姿勢を伝えていかななくてはいけないと反省をしました。指導はきちんとして頂きたいと思いますが、子供への伝え方が一方的過ぎると感じる事がありま

す。高学年はもっと宿題があってもよいのではないかと。子供の話だけを聞くので何とも言えませんが、少し指導に疑問を感じる先生がいます。もっと子供の気持ちを考えた言い方などして頂けたらと思います。マラソン大会の練習で、マスクを外そうとしたら先生に外さないでと言われた。と、子供が言っていました。感染対策としてマスクを付けなければいけないのは分かりますが、体を動かす時は苦しいと思うので外してもよいと言う事にしてほしいです。どの学年も、授業でタブレットを使うのでしょうか？目に対する影響も心配ですが、書く事も大事にしてほしいです。

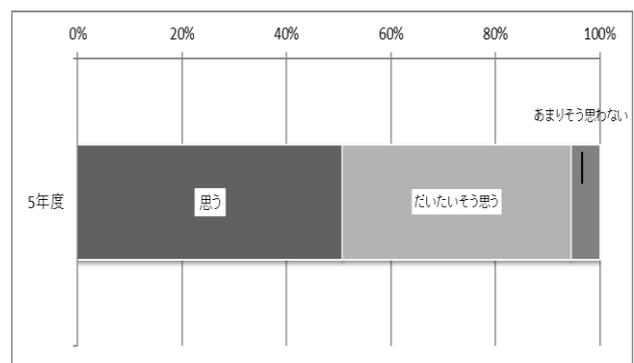
学校生活の中で子どもたちはそのほとんどを授業をして過ごしています。その授業が子どもたちにとって楽しいものになっていないとしたらそれは本当に子どもたちにとって学校生活が苦しいものになってしまいます。私たち教職員はその使命を自覚し、授業力向上のための研修に励まなくてはなりません。そのことをことあるごとに確認し合っています。

高学年は積極的にタブレットを利用した授業を多く取り入れてきました。低学年でも大型のスクリーンでデジタル教科書を利用しました。しかし、タブレットを使用するのが授業の目的ではありません。あくまでもタブレットは、児童の主体的な学習に繋がる手段です。書くことも含め今まで大切にしてきた部分を忘れることのないようにしていきたいと思います。目の健康につきましては、養護教諭と相談し学校でできることに取り組んでまいります。

4 家庭では、子どもと一緒に読書をしたり、読み聞かせをしたりしていますか



5 家庭では、みんなで食事をしたり、一緒に汗を流す活動などをしてしていますか



学校では朝読書の活動に取り組んでいます。時間になったら自分から本を取り出して読み始める児童もおりますし、なかなか読書に没頭できずにおしゃべりをしてしまう児童もいます。そのようになかなか読書になじめない児童には、週に一度の国語学習の一環として図書館での読書の時間に、何かのきっかけでよい本と出会ってもらえたらと願っています。ご家庭におかれましても、手にとれるところに何冊かの本を置いていただいでご家族で本と触れ合うような時間を少しでも持っていただけましたら嬉しいです。

ほとんどのご家庭が「家族みんなで食事をしたりいっしょに汗を流す活動などをしてしている」とお答えいただきました。学校であったことをお子様にご家庭で話さない場合もあるかと思えます。食事の合間であったり、一緒に何か体を動かしているときであったりという機会に子どもたちはほっとしてご家族に心の内を話すようなことがあると思います。どうぞこれからもそのような時間を大切にしていだけますようお願いいたします。

以上でアンケートのまとめとさせていただきます。アンケートは1年に一度の取り組みですが、ご家族の皆様と地域の皆様にはいつでも辰野東小学校へのご意見をお寄せいただけたらと思っています。どうぞお時間の許すときにご来校ください。お待ちしております。